



児童図書研究室だより

令和7年3月28日 発行

Vol. 25

2024年 国内子どもの本に関する賞

賞		タイトル	著者	出版社	出版年	請求記号
第29回 日本絵本賞	大賞	ゆうやけにとけていく	ザ・キャビンカンパニー／作	小学館	2023.7	E/サキ/
	絵本賞	おきにいりのしろいドレスをきてレストランにいきました	渡辺 朋／作 高畠 那生／絵	童心社	2023.5	E/タカ/
		かぜがつよいひ	昼田 弥子／作 シゲリ カツヒコ／絵	くもん出版	2023.3	E/シケ/
		どんぐり	たての ひろし／さく	小峰書店	2023.9	E/タテ/
第40回 坪田譲治文学賞		ひみつだけど、話します	堀川 理万子／作・絵	あかね書房	2023.11	C913/利/
第55回 講談社絵本賞		クリスマスマーケット ～ちいさなクロのおはなし～	降矢 なな／文・絵	福音館書店	2023.10	E/アリ/
第71回 産経児童出版 文化賞	大賞	小惑星・隕石46億年の石	三品 隆司／構成・文	岩崎書店	2023.7	C445/ミシ/
	JR賞	じゅげむの夏	最上 一平／作 マメ イケダ／絵	佼成出版社	2023.7	C913/モカ/
	タイヘイ賞	宿場町の日	いわた 慎二郎／作・絵	講談社	2023.6	E/イワ/
	美術賞	なつやすみ	麻生 知子／作	福音館書店	2023.6	E/アツ/
	産経新聞社賞	ゆうやけにとけていく	ザ・キャビンカンパニー／作	小学館	2023.7	E/サキ/
	フジテレビ賞	けものみちのにわ	水風 紅美子／作 げみ／絵	BL出版	2023.9	C913/ミナ/
	ニッポン放送賞	がっこうのてんこちゃん はじめてばかりでどうしよう!の巻	ほそかわ てんてん／さく	福音館書店	2023.3	C913/ホノ/
		図書館がくれた宝物	ケイト・アルバス／作 櫛田 理絵／訳	徳間書店	2023.7	C933/アル/
	翻訳作品賞	わたしは地下鉄です	キム ヒョウン／文・絵 万木森 玲／訳	岩崎書店	2023.11	E/キム/
第64回日本児童文学者 協会賞		あした、弁当を作る。	ひこ・田中／著	講談社	2023.2	C913/ヒコ/
第57回日本児童文学者 協会新人賞		けものみちのにわ	水風 紅美子／作 げみ／絵	BL出版	2023.9	C913/ミナ/
第48回 日本児童文芸家 協会賞		セントエルモの光 久閑野高校天文部の、春と夏	天川 栄人／著	講談社	2023.4	C913/テン/
		アンドロメダの涙 久閑野高校天文部の、秋と冬	天川 栄人／著	講談社	2023.9	C913/テン/
第53回 児童文芸新人賞		鈴の送り神修行ダイアリー	山下 雅洋／作 酒井 以／画	岩崎書店	2023.5	C913/ヤマ/
第73回 小学館児童出版 文化賞		じゅげむの夏	最上 一平／作 マメ イケダ／絵	佼成出版社	2023.7	C913/モカ/
		ゆうやけにとけていく	ザ・キャビンカンパニー／作	小学館	2023.7	E/サキ/
第34回 ひろすけ童話賞		いつもとちがう水よう日	丸山 陽子／作	小学館	2024.6	E/マル/
第32回 小川未明文学賞	大賞	如月さんちの今日のツボ	古都 こいと／作 酒井 以／絵	Gakken	2024.12	C913/コト/
第62回 野間児童文芸賞		杉森くんを殺すには	長谷川 まりる／作 おさつ／装画・挿絵	くもん出版	2023.9	C913/ハセ/
第34回 けんぶち絵本の里 大賞	大賞	もったいないばあさんのおばあちゃん	真珠 まりこ／作・絵	講談社	2024.3	E/シン/
	びばからす賞	おまえうまそうだな さよならウマソウ	宮西 達也／作・絵	ポプラ社	2023.12	E/ミヤ/
		一年一組 せんせいあかね こどものつぶやきセレクション	鹿島 和夫／選 ヨシタケ シンスケ／絵	理論社	2023.5	C911/カシ/
	アルパカ賞	野球しようぜ！ 大谷翔平ものがたり	とりごえ こうじ／文 山田 花菜／絵	世界文化ワンドーグループ	2024.3	E/ヤマ/
第40回日産童話と絵本の グランプリ	「童話の部」大賞	今日にかぎって	樺島 さくろ／作 奥野 哉子／絵	BL出版	2024.12	E/オク/

令和6年度ボランティアスキルアップ講座

令和6年度は、以下の5回、ボランティアスキルアップ講座を開催しました。

令和6年6月13日

第1回「絵本から広がる世界～絵本で学ぶSDGs～」

講師：石橋幸子 氏（絵本でSDGs推進協会）

内容：長年にわたり絵本と子どもをつなぐ活動に携わってきた講師による、読み聞かせの実演がありました。読み聞かせのテクニックについて、Q&A方式で教えていただきました。また、選書の仕方や、廃材を使ったワークショップ、おはなし会の組み立て方など、SDGsの視点から紹介していただきました。



令和6年7月10日

第2回「2023年に出版された主な話題の児童書」「YA向け児童書を選ぶ」

講師：岡山県立図書館職員

土居安子 氏（一般財団法人大阪国際児童文学振興財団）

内容：午前中は、当館職員が2023年に出版された子どもの本の傾向や、2023年に話題になった児童書（ノンフィクション、よみもの、絵本）約100冊を紹介しました。午後からは、講師の土居先生に、YA向け児童書の選び方についてご講演いただきました。



令和6年9月10日

第3回「ストーリーテリングー声・言葉・物語を子どもたちにー」

講師：轟あさ子 氏（絵本専門士・おはなし紡ぎの会）

内容：ストーリーテリングの実演を通して、ストーリーテリングのコツや進め方、おはなし会のプログラム構成について教えていただきました。小学校低学年から中学生、放課後児童クラブまで、幅広い世代に合わせた、ストーリーテリング向きのおはなしを紹介していただきました。



令和6年12月11日

第4回「ジェンダーの視点で見る絵本」

講師：草谷桂子 氏（トモエ文庫（家庭文庫）主宰）

内容：「絵本を読むことによって、自分と違う立場や考えの人が理解でき、自分の選択肢も増え、相手のことも認めることができる」という、絵本の持つ力に着目し、ジェンダー視点で見る絵本について、定番の絵本から、最近出版された絵本まで幅広く紹介していただきました。



令和7年2月26日

第5回「子供達と楽しむわらべ唄」

講師：吉村玲子 氏（ノートルダム清心女子大学 特別講師）

内容：講師の吉村先生といっしょに童心に返って、わらべうたを歌ったり、わらべうたに合わせて実際に遊んだりしました。春にぴったりの「たけのこめだし」や、集団で遊ぶときに盛り上がる「おちたおちた」など、おはなし会ですぐに使えるわらべうたをたくさん紹介していただきました。



展示「なかえよしを・上野紀子『ねずみくんのチョコッキ』誕生 50 周年」

2024年9月5日～2024年11月4日まで、児童図書研究室展示1のスペースで、「なかえよしを・上野紀子『ねずみくんのチョコッキ』誕生50周年」と題して展示を行いました。1974年にポプラ社から刊行され、世代を超えて愛されてきた『ねずみくんのチョコッキ』シリーズは、2024年に誕生から50周年を迎えました。5月には東京で特別展「誕生50周年ねずみくんのチョコッキ展なかえよしを・上野紀子 想像力のおくりもの」が開催され、シリーズ41作目となる『ねずみくんからのおくりもの』が刊行されました。

展示では、なかえよしをさんと上野紀子さんの略年譜で生涯を振り返るとともに、著作の絵本や児童図書、紙芝居を集めました。展示の様子と関連資料をご紹介します。

1 なかえよしをと上野紀子

大学の同級生だった2人は、1966年に結婚。1973年に合作童話『Elephant Buttons』をニューヨークのハーパー・アンド・ローから出版し、デビュー。日本でも1975年に『ぞうのボタン』として出版されました。1974年に「ねずみくん」シリーズの1作目『ねずみくんのチョコッキ』を出版し、1975年には『ねずみくんのチョコッキ』で講談社出版文化賞を受賞しました。2019年に上野紀子さんが逝去されましたが、なかえよしをさんはこれまでの絵本35冊分のイラストデータを使って「ねずみくん」シリーズを作り続けています。

2005年には2人の30年にわたる業績が評価され、第28回巖谷小波文芸賞を受賞。また、2020年にはなかえよしをさんが第59回児童文化功労賞を受賞しました。

2 代表的な作品

『ねずみくんのチョコッキ』シリーズ

なかえよしを／作 上野紀子／絵 1974年～ ポプラ社

赤いチョコッキを着た小さな主人公ねずみくんと、ガールフレンドのねみちゃん、ぞうさんやアヒルくんなどの様々な動物の仲間たちとの楽しいやりとりを描いたロングセラー・シリーズです。

余白を残した構図とモノクロで描かれた絵、チョコッキの赤色が印象的な作品です。シンプルな語り口の繰り返しが楽しい絵本です。

1作目の『ねずみくんのチョコッキ』は1975年に第6回講談社出版文化賞絵本賞、第17回児童福祉文化奨励賞を受賞しています。



<参考文献>

- ・「ねずみくんのチョコッキ なかえよしを・上野紀子夫妻の物語」『MOE』第42巻第5号 白泉社 2002.1
- ・『絵本と童話の作り方』なかえよしを 長崎出版 2007.5
- ・50周年特設サイト「ねずみくんのおいわり」(<https://www.poplar.co.jp/pr/nezumikun50th/>)

その他にも、児童図書研究室では、以下の展示を行いました。

展示期間	展示名
2024/3/14～5/14	2023年主な児童文学賞受賞作品
5/16～7/9	まっついのもこ生誕90周年
7/11～9/3	10代の君にオススメの一冊
9/5～11/4	なかえよしを・上野紀子『ねずみくんのチョコッキ』誕生50周年
11/7～2025/1/7	100年読み継がれる名作「宮沢賢治」
1/9～3/11	やなせたかし
3/13～5/12	2024年主な児童文学賞受賞作品

「やなせたかし」(1/9～3/11)の展示の様子 →



児童図書研究書の紹介

2024年に発行された児童図書研究書のうち、下記の2点をご紹介します。

『子どもを育てる0・1・2歳児にぴったりの絵本』

児玉ひろ美／著 小学館／発行 2024年 請求記号 376.158 /ㄗㄗ24/ 資料番号 001669049

乳幼児に読み聞かせをする時、一体どんな絵本を読んであげたらよいのか、悩んだことはありませんか。本書は、子どもの年齢に合わせたぴったりの絵本の選び方や読み聞かせの実践例などが、わかりやすく掲載されています。長く愛されている絵本、オノマトペの絵本、くりかえし絵本などのテーマ別の絵本ガイドも収録されているので、絵本選びの参考になります。また、わらべうたや読みきかせのコツなどが紹介されており、0・1・2歳児向けのおはなし会で大切にしたいことも学ぶことができる一冊です。



『おすすめ！子どもの本 新しい時代をつくる350冊』

日本国際児童図書評議会／編 小学館／発行 2024年 請求記号 019.5/ㄗㄗ24/ 資料番号 0016845430

新しい時代をつくる子どもたちには、どんな本が必要でしょうか。本書では、子どもの本に長年携わってきた専門家たちが厳選した、おすすめの児童書350冊のタイトルや内容を紹介しています。「知らない世界をのぞく」、「時間と宇宙と不思議な世界」、「多様性を理解する」など、子どもの好奇心をくすぐるような六つの章で構成されており、1つのテーマごとにどんな本があるのかを、対象年齢順かつ横断的に把握することができます。子どもたちの想像力をかき立てるような魅力あふれる作品に出会うことができるブックガイドです。



2024年に出版された児童図書研究書リスト（一部抜粋）

書名	著者名	出版者	出版年	請求記号
大好きな本と出会う！小学生のための読書案内	山本 省三／監修	メイツユニバーサルコンテンツ	2024.7	019.5/ヤマ24/
絵本は親子のゆりかご	伊藤 明美／[述]	ブックスタート	2024.1	019.53/イト24/
ずかん・かがく絵本から広がる遊びの世界	仲本 美央／編著	風鳴舎	2024.7	376.154/ナカ24/
高橋五山の総合的研究 デザイン・絵雑誌・絵芝居	高橋 洋子／著	風間書房	2024.2	726.501/タカ24/
絵本の「言葉と絵」を読む	デイヴィッド・ルイス／著	玉川大学出版部	2024.11	726.601/ルイ24/
児童文学書全情報 2020-2023	日外アソシエーツ株式会社／編集	日外アソシエーツ	2024.4	909.031/ニチ99/8
国立国会図書館国際子ども図書館児童文学連続講座講義録 令和5年度	国立国会図書館国際子ども図書館／編集	国立国会図書館	2024.9	L909.05/コク06/2023
ぼうけん図書館 エルマーとゆく100冊の冒険	永岡 綾／編著	ブルーシープ	2024.4	909.3/ナカ24/
中川李枝子冒険のはじまり ISSUE		スイッチ・パブリッシング	2024.4	910.268/ナカ24/
秘密の花園の向こうへ フランシス・ホジソン・バーネットの生涯	アン・スウェイト／著	国書刊行会	2024.1	930.278/ハネ24/
なぜスナフキンは旅をし、ミイは他人を気にせず、ムーミン一家は水辺を好むのか	横道 誠／著	ホーム社	2024.9	949.83/ヨコ24/

発行日 令和7年3月28日発行

発行 岡山県立図書館 サービス第一課 児童資料班

〒700-0823 岡山県岡山市北区丸の内2-6-30 Tel : 086-224-1288 Fax : 086-224-1208

